

多々良川ゆめプラン事業2010	記録者	木下 マス子
わくわく体験事業活動記録書	開催日時	平成22年4月25日(日) 14:00~16:00
団体名：ふくおか湿地保全研究会	開催場所	多々良川河口域
行事名：多々良川清掃&いきものミニ観察会	参加人数	19名

今回のわくわく体験の概要：

はじめに、回収方法を説明、「絶滅危惧種に気をつける」を見ていただき、芽を出したばかりの植物などに気をつけて、ゆっくり回収していただくようお願いした。

清掃を約1時間行い、ゴミを集荷、写真撮影。

双眼鏡・望遠鏡で鳥やトビハゼなどを観察。各種資料を配布。

回収したゴミ：可燃物32袋、不燃物6袋、ルアー3個、自転車、車のタイヤ、丸型アンテナ、プラスチック製品、ステッキなど

参加者の感想：

- ・はじめて参加したけど、楽しかった。観察がいいですね。また参加します。
- ・いろいろな鳥の表情まで見れて楽しかった。
- ・ゴミを捨てる者が多すぎる。
- ・2時からというのは、普段うとうとしている時間帯だからきつい。

活動団体の感想：

初参加の方が2名、シルバー人材センター健悠会から7名の方が参加されました。先月に続いて参加された方は、たった1ヶ月でこんなにゴミが多いの！と改めて驚かされていました。

親水護岸を始めて清掃し、その下のヨシ原の上流部も一部実施、数ヶ月ぶりに清掃するので、ゴミが堆積していました。シバナもすっかり葉を伸ばしていました。

お尻から釣り糸が出ている甲羅が18センチくらいの亀の死体があり、餌がついた釣り針を呑み込んだのが死因だろうと話し合いました。

約1時間清掃し、回収。記念写真を撮影して一息ついて、鳥などを望遠鏡、双眼鏡で観察しました。

クロツラヘラサギは7羽いました。休んでいるところ、飛ぶところを間近で見れました。

トビがとった魚をカラスが落とさせ、セグロカモメが横取りするシーンや、ミサゴがダイビングするところも観察し、コチドリ、チュウシャクシギもじっくり見れました。

トビハゼも元気に動き回っていました。

観察した鳥：チュウシャクシギ1、コチドリ2、セグロカモメ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、カルガモ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、トビ、ミサゴ、ツグミ、ハクセキレイ、ハシブトガラス。

